



タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3522		
科目名	国民保護		
担当教員	河本 志朗		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 4		
講義室	オンライン	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP7-C〔他者理解・倫理観・公共心〕人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1倫理的思考・社会認識－5% E1学識と専門技能－60% F2問題解決－10% G1状況把握－5% I1論理的思考－20%		
教員の実務経験	担当教員は、2013年から現在まで放射線医学総合研究所が主催する「国民保護CRテロ初動セミナー」の講師を、横須賀市が主催する国民保護訓練においても複数回にわたり訓練評価者を、近年は神奈川県国民保護研修会において講師を務めてきました。2018年4月からは、東京都国民保護協議会委員に任命されています。授業においては、国民保護の仕組み、国民保護計画の策定、国民保護措置における多機関連携の重要性、国民保護の実際などについてこれらの実務経験を踏まえて講義を行います。（第9回・第11回・第13回）		
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	日本に対する外部からの武力攻撃や大規模なテロなど武力攻撃の手段に準じる手段により多数を殺傷する行為が発生し、または発生する明白な危険がある「武力攻撃事態」や「緊急対処事態」において国民の生命、身体及び財産を保護する取組を国民保護といたします。国民保護は国民保護法と国民保護計画に基づいています。国民保護は自治体が一義的な責任を有する災害対応とは異なり、国が主体となって国民の避難及び救難、武力災害等への対応を行うものです。この比較的新しく、災害対策とは異なったスキームをもつ国民保護の現状を概観して基礎的な知識を身につけることを目標とします。さらに実際の訓練などの実例を取り上げて今後の課題と取組を考察します。授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 ■ キーワード：武力攻撃事態、緊急対処事態、多機関連携、訓練		

授業の趣旨	■副題 国民保護の基本的な考え方、仕組み、具体的な取組を学び、どのような職場においても万一の場合に備えることのできる社会人を目指しましょう。 ■授業の目的 国民保護法が制定された背景と目的を理解し、国民保護の考え方、仕組み、国、自治体、事業者、国民など関係機関（者）の役割、具体的な国民保護措置の内容、基本指針や国民保護計画などの基礎的知識を修得し、その基礎的知識に基づいて災害対策基本法など既存の各種法律との関係、関係機関の連携や協力、国民に対する啓発などにおける課題を分析・抽出し、今後の取組の在り方について考察する能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 国民保護の取組は、いわゆる有事法制の研究や日本をめぐる安全保障環境の劇的な変化を背景に進められてきました。その歴史はまだ比較的新しく、国民保護を適用する事案も幸いなことに発生してはいません。そのため、国民保護に対する国民の認識は決して高いとは言えない状況にあります。近年の国際テロ情勢の悪化や国際関係の流動化を考えると、万一の事態を想定してこうした備えをしておくことは極めて重要だといえます。授業では、国民保護の取組の背景や考え方、具体的な仕組みや取組の内容について、国民保護法を参照するとともに、実際の訓練実施状況なども紹介しながら現状を把握し、課題を考えていきます。								
総合到達目標	■国民保護に関して法制度、国民保護計画、具体的な取組の内容などの基礎知識を学識として修得し、その概要を説明することができるようになる。 ・国民保護法制定の背景と制定過程について有事法制の議論と関連させて説明することができる。 ・国が作成する基本指針、都道府県及び市町村が作成する国民保護計画の意義と防災計画との違いについて説明することができる。 ・警報、避難、救援、武力攻撃災害への対処など国民保護措置の実際について概要を説明することができる。 ■修得した基礎知識を活かすことにより、国民保護を取り巻く諸課題を分析・抽出して、今後の取組の在り方について考察することができるようになる。 ・国民保護措置を実施するうえで重要な地方公共団体の危機管理能力について課題を発見し、その工場に向けた取組の在り方を考察することができる。 ・様々な国民保護訓練の実施状況を比較することにより、国民保護訓練を効果的に実施する上での課題を発見し、取組の在り方を考察することができる。 ・国民に対する国民保護の意義に関する啓発活動における課題を発見し、より効果的な取組について考察することができる。								
成績評価方法	次の方法により成績を評価しますが、いずれの方法についても提出方法は授業において指示します。 ■レポート1回（50%） （評価の観点）国民保護の取組の考え方、基本的な仕組み、具体的な取り組み内容に関する基礎知識の修得の程度、その基礎知識を踏まえて、具体的な事案を想定した関係者の適切な対応の在り方を導き出せるかを評価します。 （フィードバックの方法）授業の時間中にレポートの着眼点について解説します。 ■小テスト3回（30%） （評価の観点）基礎的な専門知識が修得できているか、習得した知識を国民保護に関する課題の解決に応用できるか、などについて評価します。 （フィードバック）授業時間中に解説します。 ■リアクションペーパー4回（20%） （評価のポイント）授業の内容や進行についての意見、国民保護に対する意識の変化、課題解決に向けた意見などを自分の言葉で表現できているかを評価します。 （フィードバック）授業時間中に解説します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	授業中は、私語など他の学生の学修の妨げになる行為をしないこと。そうした行為があった場合には注意し、改善しない場合は退席を促すことがあります。								
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明することができる。 ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。 ④復習（60分）授業の内容を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ 国民保護の意義 ②授業概要 国民保護とはどのような取組なのか、海外の民間防衛と比較しながら、我が国における国民保護の取組の意義とその概要を理解し説明することができるようになる（E1、G1）。 ③予習（180分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」の「武力攻撃やテロなどから身を守るために（パンフレット）」（http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/hogo_manual.pdf）をよく読んで、国民保護法の概要を頭に入れておく。 ④復習（120分）講義内容を振り返り、災害対策の取組とどう違うのか、またその理由について考えてメモしておく。</td></tr><tr><td>3</td><td>①授業テーマ 国民保護法制定の背景 ②授業概要 国民保護法が制定された背景について、戦後における有事法制をめぐる議論の経緯を振</td></tr></table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明することができる。 ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。 ④復習（60分）授業の内容を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。	2	①授業テーマ 国民保護の意義 ②授業概要 国民保護とはどのような取組なのか、海外の民間防衛と比較しながら、我が国における国民保護の取組の意義とその概要を理解し説明することができるようになる（E1、G1）。 ③予習（180分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」の「武力攻撃やテロなどから身を守るために（パンフレット）」（http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/hogo_manual.pdf）をよく読んで、国民保護法の概要を頭に入れておく。 ④復習（120分）講義内容を振り返り、災害対策の取組とどう違うのか、またその理由について考えてメモしておく。	3	①授業テーマ 国民保護法制定の背景 ②授業概要 国民保護法が制定された背景について、戦後における有事法制をめぐる議論の経緯を振
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明することができる。 ③予習（60分）シラバスの全体をよく読んで、授業の全体の構成について十分に把握しておく。 ④復習（60分）授業の内容を振り返り、授業の全体の構成、授業の目的及び到達目標を踏まえて、自らの学修計画を立てる。								
2	①授業テーマ 国民保護の意義 ②授業概要 国民保護とはどのような取組なのか、海外の民間防衛と比較しながら、我が国における国民保護の取組の意義とその概要を理解し説明することができるようになる（E1、G1）。 ③予習（180分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」の「武力攻撃やテロなどから身を守るために（パンフレット）」（http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/hogo_manual.pdf）をよく読んで、国民保護法の概要を頭に入れておく。 ④復習（120分）講義内容を振り返り、災害対策の取組とどう違うのか、またその理由について考えてメモしておく。								
3	①授業テーマ 国民保護法制定の背景 ②授業概要 国民保護法が制定された背景について、戦後における有事法制をめぐる議論の経緯を振								

	り返りながら、有事法制としての「武力攻撃事態対処関連法」の一環として国民保護法が制定された背景を理解し説明することができるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分）有事法制とは何か、過去にどのような議論があったのかについて調べておく。 ④復習（120分）授業の内容を振り返って、なぜ国民保護法の制定が必要とされたのか、制定過程でどのような議論があったのか調べてメモしておく。
4	①授業テーマ 国民保護の目的と仕組み ②授業概要 国民保護法、事態対処法及び関係施行令の条文などを参照しながら、国民保護法の目的とその目的を達成するための措置の仕組みについて概観し、国民保護の取組の全体像を把握し、概略を説明することができるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」の「国民保護概要」と「武力攻撃やテロなどから身を守るために（パンフレット）」をよく読んで、国民保護法の目的と国民保護の仕組みを把握しておく。 ④復習（120分）授業を振り返って、災害対応と異なる部分、特に国が国民保護の取組を主導する理由について考える。
5	①授業テーマ 武力攻撃事態と緊急処理事態 ②授業概要 国民保護法に基づいて国民を保護する措置が発動される事態とされている武力攻撃事態等及び緊急処理事態について、関係法令の条文などを参照しながら、それが具体的にどのような事態なのかを理解し説明できるようになる（E1、C1）。ここまでの授業の理解度について小テストを行い、結果については次回以降の授業中に解説します。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」に掲載されている「国民の保護に関する基本指針」の第2章と第5章をよく読んで、武力攻撃事態の類型と緊急処理事態の分類についてそれぞれの概要をつかんでおく。 ④復習（120分）過去に発生した事例で、緊急処理事態に該当すると考えられるような事案にどのようなものがあるかについて調べる。
6	①授業テーマ 国民保護の基本方針と具体的な措置① ②授業概要 国民保護措置の実施に関する基本的な方針、武力攻撃事態の想定に関する事項、実施体制の確立について、その概要を理解し説明できるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」に掲載されている「国民保護に関する基本方針」の1章から3章までを読んで、内容を把握しておく。 ④復習（120分）国民保護における国民の協力として自分にできることは何か考えてメモしておく。
7	①授業テーマ 国民保護の基本方針と具体的な措置② ②授業概要 具体的な国民保護の措置としての住民の避難、避難住民等の救援、武力攻撃災害への対処などについて、概要を理解し説明することができるようになる（E1、F2）。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」に掲載されている「国民保護に関する基本方針」の4章第1節から第3節までを読んで、避難の概要について把握しておく。 ④復習（120分）授業を振り返って、災害対応における住民の避難との違いについて考えてメモしておく。
8	①授業テーマ 国民保護の基本方針と具体的な措置③ ②授業概要 国民保護の措置全般についての留意事項、国民の生活の安定に関する措置、武力攻撃災害の復旧に関する措置、訓練及び備蓄、緊急処理事態への対応について、概要を理解し説明できるようになる（E1、F2）。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」に掲載されている「国民保護に関する基本方針」の4章第4節から最後までを読み、国民保護措置の留意事項を把握しておく。 ④復習（120分）ライフライン機能の重要性と復旧の在り方について、具体的な業種を想定して考えてみる。
9	①授業テーマ 国民保護計画の策定 ②授業概要 「国民の保護に関する基本指針」を基準として、国や地方公共団体が作成する「国民保護計画」、指定公共機関が作成する「国民保護業務計画」について、「都道府県国民保護モデル計画」などを参照しながら、その内容について概要を理解し説明できるようになる（E1）。担当教員の東京都国民保護協議会委員としての実務経験を踏まえて、地方公共団体の国民保護計画の策定と意義について説明します。ここまでの授業の理解度について小テストを行い、結果については次回以降の授業中に解説します。 ③予習（120分）「内閣官房国民保護ポータルサイト」に掲載されている「市町村国民保護モデル計画」に目を通してどのような内容になっているのか、概要を把握しておく。 ④復習（120分）世田谷区のサイトに掲載されている「世田谷区国民保護計画（本編）」に目を通して、モデル計画がどのように反映されているかを確認する。
10	①授業テーマ 国民保護計画の策定の実際 ②授業概要 世田谷区国民保護計画を取り上げて、実際に作成された国民保護計画の内容を具体的に参照しながら、地域の特性に応じた作成の概要について理解し説明できるようになる（E1、G1）。 ③予習（120分）世田谷区のサイトに掲載されている「世田谷区国民保護計画（本編）」に目を通して概要を把握しておく。 ④復習（120分）世田谷区国民保護計画に地域の特性がどのように反映されているかを確認し、メモしておく。
11	①授業テーマ 国民保護事案対処における多機関連携の重要性 ②授業概要 国民保護事案への対処において、自治体、警察、消防、自衛隊など関係機関の連携が重要であることを、海外における実際の事例を概観しながら理解し、効果的な連携について考察できるようになる（E1、C1）。担当教員の国民保護セミナーの講師や国民保護訓練の評価者を務めた実務経験を踏まえて、多機関連携の重要性について具体的に解説します。

	③予習（120分）2013年に発生した米国ボストンマラソン爆弾テロ事件について、事件の概要について調べておく ④復習（120分）ボストンでの多機関連携の鍵となったものは何であったか、その多機関連携はどうやって培われたのかを確認する。
12	①授業テーマ 自治体の体制整備 ②授業概要 国民保護措置を実施するための自治体における体制の整備に向けた取組の現状と課題について把握し、概要を説明することができるようになる（E1、F2）。 ③予習（120分）消防庁資料「地方公共団体における総合的な危機管理体制に関する調査」（平成25年11月5日、消防庁 http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h25/chihou_kiki_kondankai/19/shiryo01-6.pdf）。を見て、地方公共機関の危機管理体制の概要について把握しておく。 ④復習（120分）授業を振り返って、地方公共団体における体制整備の取組の現状と課題を確認し、課題解決のために何が必要かについて考える。
13	①授業テーマ 国民保護訓練の実際 ②授業概要 国と地方公共団体による国民保護共同訓練や横須賀市などが実施している国民保護訓練の実施状況を概観して、訓練の概要、関係機関との連携における訓練の位置づけなどを把握し、効果的な訓練の在り方について考察することができるようになる（E1、F2）。レポートの課題について提示し、着眼点について解説します。ここまでの授業の理解度について小テストを行い、結果については次回以降の授業中に解説します。 担当教員の国民保護セミナーの講師や国民保護訓練の評価者を務めた実務経験を踏まえて国民保護訓練の実際について具体的に解説します。 ③予習（120分）「国民保護ポータルサイト」に掲載された国民保護共同訓練について実施状況を把握しておく。 ④復習（120分）「国民保護ポータルサイト」に掲載された国民保護共同訓練について、教訓とされているものについてどのような改善策があるか考える。
14	①授業テーマ 国民に対する情報提供と普及啓発 ②授業概要 平時における国民に対する国保護に関する普及啓発活動と、国民保護措置が発動された際における、国民への警報の発令や情報提供の取組について概要を理解し、説明することができるようになる（E1、I1）。 ③予習（120分）「国民保護ポータルサイト」内の「国民保護のための情報伝達の手段」を確認し、同サイトのサイレン音を実際に聞いておく。同ポータルサイト内の「国民保護研修会」過去の研修会の概要を読んでどのような啓発がなされているか確認しておく。 ④復習（120分）国民への普及啓発を効果的に実施するためには、どのような方法があるか考えてメモしておく。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまで14回の授業を振り返り、国民保護の意味、国民保護措置の実施における国、自治体、関係機関の役割、多機関連携の取組における課題と今後の取組の在り方を考察することができるようになる（E1、F2）。 ③予習（120分）これまでの14回の授業を振り返り、国民保護措置の実施における課題を自分なりに考えてメモしておく。 ④復習（180分）授業全体を復習し、自分の将来目指す進路において、職場としてあるいは個人として国民保護の取組にどのようにかかわる可能性があるかを考えてみる。
関連科目	リスクコミュニケーション論 RMGT1304、テロ対策論 RMGT3528、安全保障論 2 RMGT3554、防衛法制 RMGT3452、国際人道法RMGT3453などと密接に関連しています。
教科書	特にありません。毎回、レジюме及び資料を配布します。
参考書・参考URL	宮坂直史・鶴飼進『実践危機管理・国民保護訓練マニュアルーテロ対策訓練の進め方』（ぎょうせい、2012年） 国民保護法制研究会『逐条解説 国民保護法』（ぎょうせい、2005年） 国民保護法制運用研究会『有事から銃民を守る 自治体と国民保護法』（東京法令出版、2004年） 内閣官房国民保護ポータルサイト http://www.kokuminhogo.go.jp/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日5時限 それ以外の時間についてはメールにて事前にアポイントを取れば対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30％；パブリックセキュリティ30％；グローバルセキュリティ30％；情報セキュリティ10％ ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学70％；法学30％



